

市報

やまぐち

昭和62年

10月15日

No. 966

交通事故状況

種別	区分	累計	
		9月	本年 昨年
発生件数	50	415	415
死亡者	1	11	10
重傷者	3	25	30
軽傷者	49	454	458

発行 山口市役所
 編集 企画部広報課
 印刷 森重印刷(株)



かまを手に、一株ずつ丁寧に刈り取る子供たち

仁保幼稚園・小学校・中学校の児童や生徒たち約五百人が十月六日、黄金に色付いた学習農園の稲を収穫しました。今年六月にやはり合同でモ千米の苗を植えてから四か月、かかしを作ったり、水の管理をしたり、稲の観察をしながら育ててきました。仁保農協やPTA、婦人会など地域をあげて取り組んできたこの勤労生産学習で、子供たちは米の大切さ、作ることの難しさ、働くことの喜びを知り、よい勉強となったことでしょう。

ところで、十月は「米消費拡大強調月間」です。肉・魚などどんな素材ともよく合い、栄養バランスを保つためには最適の「お米」。これを核とした日本型食生活の価値を、この機会にもう一度、見直してみましよう。

実りの秋に
 子供たちが稲刈り
 地域ぐるみの勤労生産学習

高度情報通信拠点施設整備計画イメージ図



井龍県知事
で、建設地は
国道九号沿い
の市内熊野町
一〇一〇番一
〇。

施設の建設
は土地信託に
より、住友信
託銀行が行い、
完成後、県ニ
ューメディアア
推進財団が建
物を買取り、
施設の管理運
営は、財団と
住友信託銀行
との間で管理
委託契約を締

高度情報通信の拠点施設 民活法の認定を得る

～未来との“対話”スペース～

郵政省のテレコムプラザと通商産業省のニューメディアセンターを併設した高度情報通信拠点施設の整備計画について、十月六日、郵政省及び通商産業省から民活法による特定施設としての認定を得ました。この拠点施設は、郵政省のテレコムプラザとしては、全国で初めて認定を受けるものであり、通商産業省のニューメディアセンターとの併設施設としての認定を受けたのも全国で初めてです。

快適な住民生活 地域の活性化をめざす

(仮称)高度情報通信拠点施設は、高度情報通信全県ネットワーク構想に基づき、総合的な地域の情報化を進めるための施設です。

事業主体は、県、山口市など県内の市町村、企業が共同出資し、今年二月に設立した第三セクターの財団法人山口県ニューメディア推進財団(理事長・平

結して行われる予定です。

事業費は、約二十四億円。民活法の特定施設として、国の認定を得たことにより、事業費の五割の補助金や五〇割の無利子融資が受けられることになりました。

今後の計画では、来年四月までに基本設計、実施設計、積算等を行い、昭和六十三年度から建築工事を進め、六十四年九月に竣工の予定です。

地上10階・地下1階 人と情報、ふれあいの場

(仮称)高度情報通信拠点施設には、コンピュータ専門学校、パソコンセンター等が入居する通商産業省のニューメディアセンターと、電気通信技術研修センター、ソフトウェア工場等が入居する郵政省のテレコムプラザとが併設されます。

計画案では、建物は鉄筋鉄骨コンクリート建地上十階・地下一階で、敷地面積は三、一〇四・〇九平方メートル。延建物面積は八、七〇九平方メートル。各階には、別表に掲げる施設が配置される予定です。

また、この施設の全体概念として、「未来との“対話”のス

認定に感謝し 県都づくりを推進

山口市長 小林兼年



小林市長

山口市に建設される高度情報通信拠点施設(仮称)が、「民間事業者の能力の活用による特定施設の整備の促進に関する臨時措置法」の特定施設として、郵政省、通商産業省から認定されました。今回の認定に対し、国、県並びに関係者の皆様に心からお礼を

申し上げます。

この拠点施設は、郵政省所管の電気通信基盤施設と通商産業省所管の情報化基盤施設を併せた情報化ビルであり、住民が気軽にニューメディアにふれあい、体験し、活用することができ、豊かな生活と産業の振興に寄与するものとして、財団法人山口県ニューメディア推進財団により整備されるものであります。

山口市といたしましては、テレコムプラザ及びニューメディア・コンピュータ構想の地域指定を受け、来たるべき高度情報社会に向けたまちづくりに先行的に取り組んでいるところであります。この核となる施設がぜひ

必要であると考え、かねてより県御当局と協議を進めてまいりましたところであり、今回の認定によりまして、いよいよ計画が実現に向けて動き始めるわけでありますが、このことが情報通信機能の集積による県都・中核都市の形成に極めて重要な役割を果たすものであると思う時、喜びもひとしおであります。

これも、国、県並びに関係者の皆様のご理解、ご協力の賜と深く敬意を表するところであります。今後とも、地元といたしまして、施設整備に積極的な協力を行ってまいります。

主な入居予定施設

階数	施設名
屋階	塔屋
10階	電気通信センター
9階	電気通信センター ニューメディア推進財団
8階	情報通信センター 山口ニューメディアセンター
7階	県情報センター 情報資料室
6階	コンピュータ専門学校
5階	電気通信技術研修センター カルチャーセンター
4階	会議室 システム開発センター
3階	放送通信館
2階	パソコンセンター レストラン
1階	イベントホール ショールーム
地階	機械室等

テレビ番組

「私たちのまち山口」 友好都市済南を訪ねて

- 放送テレビ局 TYSテレビ
- 放送日時 10月25日から11月8日までの毎週日曜日午前11時40分から45分まで(5分間)
- 内容 済南との関係を説明しながら、中国山東省済南市の位置や人口、さらに歴史を紹介する。



釣突泉

(3)

山口県青少年育成県民会議の アイドルキャラクターと シンボルマークを募集

- 作品 青少年育成県民運動を推進している県民会議にふさわしいもの
- 応募資格 県内に住または在勤の人
- 応募期間 10月21日まで
- 問い合わせ 応募方法など詳しくは、山口県青少年育成県民会議事務局(県婦人青少年課内 ☎22-3111)へ

山東省物産展覧会

- 期日 10月22日～29日
- 場所 県体育館(中園町)
- 内容 山東省の食品や美術工芸品、家具、草・竹・柳製品、陶磁器など約5万点の展示販売、山東省著名書道家・画家による作品製作と販売
- 入場料 無料

山口県農林水産まつり

「耕せ大地 育て海～聞こえますか21世紀への息吹～」をテーマに、次のとおり農林水産まつりが開かれます。

- 日時 10月24日(土)25日(日)の午前9時～午後4時
- 場所 県農業試験場(大内)
- 内容 牧場遊園や畜産食品の料理実演▷農村青年による郷土芸能や演芸▷竹馬や竹とんぼなどの製作指導や競技▷郷土食・料理の実演即売▷地域特産品や緑化樹、蜂蜜、活魚等の即売▷もちまきなど

10月は「高齢者雇用促進月間」

日本は世界的にも極めて高齢者の割合が高く、昭和75年には労働力人口の4人に1人が高年齢者になるもの(労働省推計)と見込まれています。高年齢者の雇用就業機会確保のため、各種援助制度がありますので積極的にご活用ください。詳しくは、山口公共職業安定所(☎22-0043)へ。

また、高齢者多数雇用報奨金制度の支給要件が緩和されています。詳しくは、県雇用開発協会事務局(☎24-6749)へおたずねください。

第30回市美術展覧会

市長賞に大内義明さん(神田町)

6部門に
170点の出品

第三十回市美術展覧会が、九月二十五日から二十七日まで市民会館で開かれました。

今年は、日本画、洋画、工芸、書、写真、デザイン、の六部門に百七十点の出品があり、審査の結果、次の二十二の方が入賞されました。

▽市長賞 写真 大内義明(神田町) ▽市議会議長賞 洋画 福井敦朗(大内) ▽教育長賞 清水俊子(水の上町)、工芸 近藤守(天花)、書 重富恒子(陶)、▽文化協会賞 写真 関谷憲治(穂積町)、▽教育委員会賞 日本画 山本進次(佐山)、日本画 藤永エミ子(朝倉町)、洋画 石原隆(嘉川)、洋画 米川敦子(大内)、



会場作品を鑑賞する市民(九月二十六日)

工芸 左野律子(折本二丁目)、工芸 横山忠司(赤妻町)、書 岩田一男(宮野)、写真 立野薫(松美町) ▽文化協会賞 日本画 町田英子(大内)、日本画 塩見洋子(糸米一丁目)、洋画 岸田博夫(穂積町)、洋画 光永透(平川)、工芸 宇

都宮茂子(泉都町)、工芸 木田宗一(中央一丁目)、書 堀山貴子(大内)、写真 久保正秋(宮野)

なお、展示会場には、この入賞作品二十二点のほか、招待作品十七点と入選作品百三十一点の合わせて百七十点が展示されました。

力作ぞろい

153点を展示

今回出品された部門別点数は次のとおりです。カッコ内の数字は、展示された数字。

- ◆日本画 二五五(二五五)
- ◆洋画 四〇〇(四〇〇)
- ◆彫刻 〇(〇)
- ◆工芸 四二二(二八〇)
- ◆書 三〇〇(二七〇)
- ◆写真 三三三(三二〇)
- ◆デザイン 二二二(二二二)

第16回市民文化祭

市民会館で

芸術の秋を迎え、第十六回山口市民文化祭が、十月二十四日(土)、二十五日(日)の二日間市民会館で開催されます。

市民会館大ホール

- ◆十月二十四日(土) 昼の部 午後一時～四時三十分 詩吟
- ◆十月二十四日(土) 夜の部 午後六時～九時 狂言、箏曲、洋舞、奇術、創作劇「マイフオーカスインヤマグチ」―木犀の賦―

十月二十五日(日) 昼の部

- 正午～午後四時三十分 長唄、尺八、箏曲、日舞
- 展示ホール・小ホール 大ホールロビー

- ◆十月二十四日(午前九時～) 十月二十五日(午前九時～) 展示、総合華展、盆栽、古典園芸
- お茶席 抹茶、煎茶

勇壮な和太鼓の競演

全西日本郷土芸能祭 山口大会

九州・山口の特色ある有名太鼓や民謡を集めて、全西日本郷土芸能祭山口大会が九月二十六日・二十七日の両日、県体育館で開かれた。

これは、湯田温泉の観光の目玉にしようとして開かれたもので、三六十年の伝統をもつ小倉祇園太鼓や鹿児島霧島九面太鼓、地元山口の大内姫太鼓など十六団体約二百人が参加、ばちさばきも鮮やかに郷土芸能を披露した。また、東京から湯島天神太鼓が特別出演、大会を盛り上げた。



会場を訪れた約三千人は、勇壮な和太鼓の競演に酔いしれていた。

音色は最高!

みんなの善意で買った大歳のピアノ

地区の人たちの寄付で購入したピアノが大歳公民館へ贈られ九月二十六日、ささやかなピアノ開きが行われた。

公民館が改築されたのを機会に、古くなった公民館のピアノを買い替えようと今年六月、藤村芳子さんがピアノ購入基金を設立、公民館だよりを通じて寄付を募った。それからわずか三か月後の九月初めには、目標額の約四十三万円を達成、二十九人と三団体から寄せられた好意でみんなのピアノを購入した。



ピアノ開きで歌うコーラスアセリア

同和問題 特集

明るく社会をつくるために

同和对策推進強調旬間 生徒の応募作品

市教育委員会では、同和对策推進強調旬間(十一月十一日〜二十日)の一事業として行われる中学生のポスター・標語・作文の募集に応募するように呼びかけ、ポスター一九四九点、標語二、八五九点、作文九八四点の作品が提出されました。これらを審査した結果、次の方々が特選・入選・佳作にそれぞれ選ばれました。

ポスターの部

- 特選(湯田)三年 平佐政代
入選(白石)三年 原田真弓
(湯田)三年 阿美古芳典
(鴻南)二年 倉光真裕美

標語の部

- 特選(鴻南)一年 藤村雅美
入選(大殿)二年 佐々木陽子
(鴻上)三年 有富康
(仁保)一年 藤井紀行
(大内)三年 中村誠
佳作(宮野)二年 荒川香里
(宮野)三年 小池史香
(大殿)一年 大村修一
(湯田)一年 泉哲雄
(湯田)三年 木村尚代
(鴻南)三年 金子史恵

作文の部

- 佳作(川西)三年 伊藤真貴
(鴻上)三年 井上真生
(仁保)三年 堀田倫代
(仁保)三年 広田真砂子
(大内)三年 山本純子

- 佳作(二島)三年 原田真一
(川西)一年 当香織
(鴻上)三年 山根久子
(大内)三年 田中唱子
特選(一席) 横沼結子
(二島)三年 横沼結子
特選(二席) 井上真生
(鴻上)三年 井上真生
入選(湯田)三年 宮崎知華

- 入選(大内)二年 小野由美子
(大内)一年 藤野奈美
佳作(宮野)三年 古屋圭宣
(白石)三年 多田基哉
(白石)二年 白石友起
(湯田)二年 田中菜穂
(鴻南)二年 河野聡子
(鴻南)三年 松岡秀征
(川西)三年 伊藤好美
(鴻上)二年 石田祥子



〈特選〉 湯田中3年 平佐 政代

うしてこんな根拠もない差別のために、自殺に追い込まれ、人生をめちゃめちゃにされ、命までもなくさなければならなかったのでしょうか。同じ人間のだから、こんなことがあつては絶対いけないと思います。いつか私の母が、私に話してくれたことがあります。私の姉は、高校に入学して、すぐ、一人の友達ができました。その人は、とてもいい人で、

鴻南中学校1年 藤村雅美

第1歩

同和。私が初めてこの言葉聞いたのは、小学校六年生の頃だったと思います。最初に聞

身近にある差別

二島中学校3年 横沼 結子

いたときは、たいして気にもとめていませんでした。中学校に入ってから、この同和問題を取り上げた授業を多く受けるようになりまし。そういう中で私は、同和問題のことを、少しずつ知っていきました。それは信じられないようなことばかりです。昔の人達は、なぜ差別をする

ようになったのでしょうか。昔の差別のことを本で読むと、とても悲しくて、つらい腹立しいことがたくさんありました。例えば、同和地区の人とそうでない人を見分けるために、同和地区の人達の着物の色を統一したり、髪を結い方を決めたりしました。現在では考えられないようなことが昔はたくさん行われ

ていたのです。そして、こんなにつらく、悲しいことに反発するために人々は、一揆をおこしたりして、たくさん犠牲者を出しました。昔の人々は不合理な差別に団結して立ちあがったのです。しかし、差別の問題は、昔だけにとどまらず、現在の私達の社会にまで、もちこまれていくのです。私達は、毎日を家族や友達と、楽しみ喜んだり、悲しんだりしています。そして、それは私達にとって何の不思議もないことです。でも、その陰には同和地区だということだけで、人の目を気にし、つらく悲しい

思いをしている人達もいるのです。ずっと昔の差別のために、今もこの人達は、幸せになれないのだと思います。私は、こんな人達のこと、たくさん話に聞いたり、本で読んだりしたことがあります。ある人が、会社に就職しようと思つて採用試験を受けました。成績は優秀、人柄もいい。なのにその人は試験に落ちました。同和地区出身であるがために。ほかにも同和地区の出身だから、結婚を許してもらえないで差別をされた女の人が自殺してしまつたという話を本で読んだりしました。どうして、ど

(5)

山口市 特選標語

ふみ出そう 差別をなく

姉は、きつと祖母の言ったことがショックだったと思います。母はとも安心したそうです。

祖母も、姉の一言できつと考え直してくれたのではないかと、私に話してくれました。祖母も、姉の一言できつと考え直してくれたのではないかと、私に話してくれました。

部落差別と私

潟上中学校3年

井上真生

とを伝えることよって一人でも考え方を改めてくれる人がいれば、同和教育のあらわれだと思えます。

あれからもう五年近くたって、あんなふうな、早く一人ずつでもいいから差別する人をなくしていくというのを、今後の心がまえとして、私は教育を受けていきたいと思います。そして、世の中から差別がなくなつた時、それは日本が本当に平和になつたことだと思えます。

です。しかし、Aさんはそんな祖母の言葉なんか気の一つにもかげずに、私達とつきあつていきます。

子供の世界での空気は、こんなに新鮮なものなのです。子供の考えの方が今の時代しつかりしているのではありませんか。

結婚差別、または就職差別など今の私には縁はないと思つても、いざそれは、この私自身の身の上になりかかってくるのです。

もし、そんな時が目の前にやってきた時、堂々と自分の意見のいえる人間になりたいです。いつでもどこでも自分の意見を持ち、自己主張できるようにならないと、周りの人間にふりま

りにもかわいそうだから、せめて戸籍だけでもかえてほしいな、どという要求もあつたそうです。

第一、なぜ生まれてくる子供の戸籍をかえる必要があるのでしょうか。

他にもこんな話があります。Aさんの祖母がAさんに「○○地区の人とは遊んじやいけんよ」といわれたそうです。○○地区というのは、現在私が住んでいる所、つまり、同和地区のこと

「あそこの子は遊んじやいけんよ。」

「なぜ。」

「あそこへんの地区は家柄が悪いかからだよ。」

こんな場面がテレビドラマ

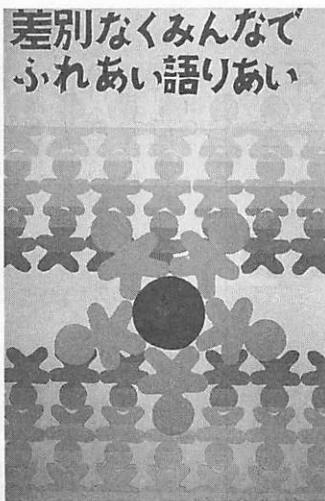
マにもでてくるようになった今日。

やはり、「部落差別」というものは、今もなお続いているのだという事を改めて実感させられます。

特に同和地区出身である私は、その事が人一倍許せない思

私の住む地区の付近で、実際にあつた話で、結婚式の時、相手の男性が同和地区出身だということ、女性の両親、親族は誰一人出席しなかつたということです。

それだけでなく、生まれてくる子供が同和地区出身ではあま



〈入選〉 白石中3年 原田 真弓

憲法第97条

〔基本的人権の本質〕

第七七条 この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であつて、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである。

わかれ最後には自分自身を失うことになるのです。

今の大人は、ちょうどそのような状態だといえるのではないのでしょうか。この言動は差別だとわかつていても、自分の意見をはつきりということができず、ついついしよになつて差別をしてしまつたり、見て見ぬふりをしてその場をごまかしたりすることがたくさんあるのではないのでしょうか。今こそ大人は子供の新鮮で素直な心を見習う必要があると思ふのです。

私は同和地区だとさげすまれていたこの地に生まれ育つたことを一度も後悔したことはありません。なぜなら、「同和地区」というのは単なるいやがらせの「呼び名」に過ぎないからです。もともと土地に区別なんかないのです。むしろ、ここに生まれてよかつたとうれしく思ふし、この地に誇りを持っています。

それは、この地は解放を求むる意志が一つになつた団結力があるからです。他の地にはない心の通じ合い、そして、部落問題に対するひたむきな姿勢。これこそ、この地の偉大な地に生まれ育つて本当に幸福な人間だと思ふのです。

ここで私達が、いや、私自身が部落差別を許してしまつと、時がまた江戸時代にさかのぼつてしまふ、部落をふみにじられる花のように好き勝手に利用されるのではないのでしょうか。もしかして、その日は、すぐそこまできているのかも知れません。

しかし、今、部落差別をみんなが見過ごさなければ、何年、いや何ヶ月ともいわず明日にでも明る道がまちかまえていっているのです。

その日にあこがれるのでは、部落の解放なんかつかめません。私はその日にあこがれて、何もしないで幸せをつかもうというひきような人間だけにはなりたくないのです。

私の決意。それは、これから生きていく上で、どんな差別があろうとも、それに負けず立ちむかつていくということです。

また、私は自分の意見を堂々ということのできない欠点をもっています。だから、相手をせつとくできる程の自信と勇氣に満ちた人間になりたいと思つていっています。

そして、いつの日か、自分自身のこの手で部落の解放をつかむのです。

山口市同和教育推進大会

10月27日(火)

同和教育の解決を願って

山口市同和教育推進大会
開催要領

市民の同和教育に対する理解と認識を深め、同和教育の早期解決を図るため、永年にわたり市民同和教育研修講座を開催してまいりましたが、今年度から新たな構想のもとに、幅広く市民の皆さんの参加をいただき、山口市同和教育推進大会を開催します。

時代の進展とともに同和教育は、解決しつつあるといわれていますが、身近な生活の中で、とくに結婚・就職等の差別が今なお見られることは誠に残念なことであり、今後の同和教育、啓発の必要性が痛感されるところです。私たちは同和教育を一人ひとりの課題として受けとめ、同和教育の解決に努力しなければなりません。そのためにも、ぜひ、この機会に市民の多くの皆さんに、積極的にご参加いただきますようご案内いたします。

○主旨 市民の同和教育に対する理解と認識を深めるため、同和教育を一層推進し、もって同和教育の早期解決に資する。

○主催 山口市、山口市教育委員会

○期日 十月二十七日(火)

○会場 県教育会館

○大会日程

・午後一時 受付

・午後一時三十分 開会行事

表彰・昭和六十二年同和教育推進奨励賞授与

品入選者(ポスター、標語、作文)

作文朗読・特選一席「身近にある差別」二島中学校三年横沼結子

午後二時二十分 スライド「みんなの力で」山口市



〈入選〉

湯田中3年 阿美古 芳典

における同和教育
実践発表
「学校における同和教育」
(湯田小学校教諭江口七郎)
「同和教育研修を受講して」
(山口市同和教育推進委員・松尾操子)

昭和60年発足、以来3か年

山口市企業・職場同和教育連絡協議会の現況

「企業・職場における同和教育」(山口市役所職員課長・原昌克)
「教養講座の取り組み」
(講座代表・藤田久子)
・午後四時 閉会行事

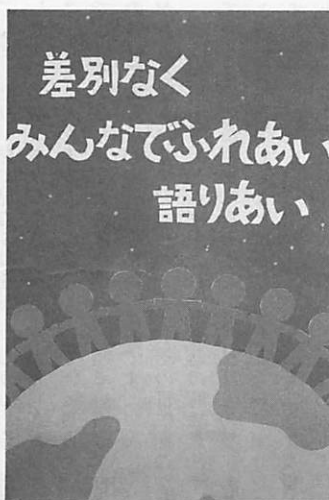
同和教育の早期解決をはかることを目的に、現在市内四十三の企業・職場が参加し、年間事業計画に従って、総会、理事会(三回)、会員研修会(二回)、企業・職場内での研修会(各企業・職場の自主運営)やその他の機会を活用して、同和教育・啓発に取り組んでいるところだ。言うまでもなく、企業・職場は生産活動を通して利潤をあげ、雇用の機会を維持し、住民生活の安定と向上をもたらす、地域社会との係わりの中で存在してあります。その経営の基盤には働く人々相互の人間が尊重され、明るく働き甲斐のある職場づくりが大切であり、これを阻害す

る要因として、同和教育や差別問題などがあげられます。最近の厳しい経済・労働事情等から、利潤追求のみに走り、人間尊重の精神や同和教育等が軽視されるようなことがあるとするならば、それは絶対に許されないことです。当連絡協議会は、この問題を真剣に受けとめ、研修の場、会員相互の交流啓発の場、正しい情報交換の場として位置づけ、積極的な研修活動の推進に努力し同和教育の解決に向けての進展を期待しております。しかし、日常の実践活動はあくまで、各企業・職場の実情に即して主体的に進められ、それが特色でもあり、反面格差も感じられていくところでもあります。来る十月二十七日(火)には昭和六十二年度、山口市同和教育推進大会を開催いたしますが、その際、二・三の企業・職場での現状の一端を紹介する手はずにしています。また、現在参加されている企業・職場と連絡協議会規約は、次のとおりです。(次頁)

入選標語

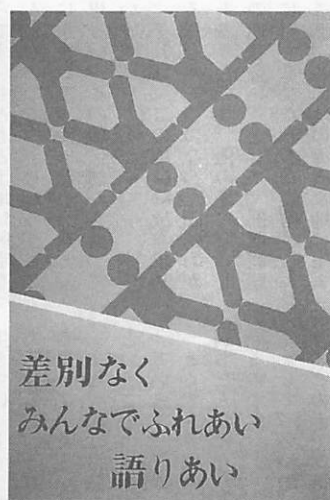
差別なく明るい笑顔のふえる街
ほくたちが開く差別のない未来
つなぐ手のぬくもり同じ心の輪
作るまい差別という名の高い壁

大殿中2年 佐々木 陽子
湯上中3年 有 富 康
仁保中1年 藤 井 紀 行
大内中3年 中 村 誠



〈入選〉

仁保中3年 野草 志穂



〈入選〉

鴻南中2年 倉光真裕美

(7)

山口市企業・職場同和教育
連絡協議会参加企業・職場

- ▽明治乳業(株)山口工場
- ▽秋川食品(株)▽湯田タクシー(株)▽山口信用金庫
- ▽積水ハウス(株)山口工場
- ▽(株)山陰堂
- ▽山口郵便局
- ▽石山建設(株)
- ▽新山口いすゞモーター(株)
- ▽五十鈴工業(株)
- ▽山口県社会保険診療報酬支払基金
- ▽オリエンタルコンクリート(株)山口営業所
- ▽医療法人清和会吉南病院
- ▽(株)エムラ山口支店
- ▽嘉川興業(株)
- ▽仁保病院
- ▽山口電報電話局
- ▽(株)長田組
- ▽広島建設工業(株)山口支店
- ▽テレビ山口(株)
- ▽日本電信電話(株)山口支社
- ▽山口県国民健康保険団体連合会
- ▽山口銀行山口支店
- ▽国際電信電話(株)山口衛星通信所

- ▽中国電力(株)山口営業所
- ▽山口県信用保証協会
- ▽(株)糧友山口
- ▽日産プリンス山口販売(株)
- ▽山口日野自動車(株)
- ▽建物保全(株)山口営業所
- ▽山口合同ガス(株)山口支店
- ▽湯田ショッピングセンター(山口観光協同組合)
- ▽山口小松販売(株)
- ▽山口市農業協同組合
- ▽(有)かとう
- ▽簡易保険郵便年金福祉事業団湯田簡易保険保養センター
- ▽中国電気工事(株)山口支店
- ▽山口トヨベツト(株)
- ▽山口印刷工業(株)
- ▽山口市役所
- ▽山口商工会議所
- ▽(株)ちまきや
- ▽NNTT山口ネットワークセンター

山口市企業・職場同和教育
連絡協議会規約 (抜粋)

○目的 本会は、同和問題の早期解決をはかるため企業・職

山口市同和教育推進委員
新委員25人、決まる

去る五月、任期満了に伴う、昭和六十二年・六十三年度の新しい山口市同和教育推進委員に委嘱状が交付されました。

推進委員の主な職務は、同和問題解決に必要な指導、助言等を行うことです。そのために、推進委員の方には、委員同志の研修会や先進地視察等を行っていただき、実践上の問題点、意見、悩み等を交換しながら知識

を習得していただくとともに、

山口市同和教育推進委員
(昭和六十二、六十三年)

- 中国電力(株)山口営業所
 - 山口県信用保証協会
 - (株)糧友山口
 - 日産プリンス山口販売(株)
 - 山口日野自動車(株)
 - 建物保全(株)山口営業所
 - 山口合同ガス(株)山口支店
 - 湯田ショッピングセンター(山口観光協同組合)
 - 山口小松販売(株)
 - 山口市農業協同組合
 - (有)かとう
 - 簡易保険郵便年金福祉事業団湯田簡易保険保養センター
 - 中国電気工事(株)山口支店
 - 山口トヨベツト(株)
 - 山口印刷工業(株)
 - 山口市役所
 - 山口商工会議所
 - (株)ちまきや
 - NNTT山口ネットワークセンター
- 場の社会的責任と自覚のもとに、自企業・職場ならびに会員相互が連携して同和教育を推進することを目的とする。
- 事業 次の事業を行う。
- ①企業・職場内同和教育に関する事業
 - ②会員相互の交流ならびに情報交換に関する事業
 - ③研修会、研究会、講演会等の開催に関する事業
 - ④その他本会の目的達成に必要なこと
- 会員 山口市内の企業・職場で本会の趣旨に賛同するものをもって構成する。
- 役員 会長、副会長、理事(若干人)、監事(二人)をおく。
- 会議 総会および理事会とし必要に応じてその都度開催する。
- 事務局 市教育委員会社会教育課におく。
- 施行日 昭和60年6月28日
- ▽長富房子(仁保)
 - ▽松野高志(仁保)
 - ▽新井律子(小鯖)
 - ▽市原秋二(大内)
 - ▽岡本義男(大内)
 - ▽宇佐川章子(宮野)
 - ▽安永伊之助(大殿)
 - ▽伊藤啓助(白石)
 - ▽小林正人(湯田)
 - ▽大田謙次(湯田)
 - ▽松本節子(湯田)
 - ▽西山房子(湯田)
 - ▽小林廣康(吉敷)
 - ▽安田洋子(平川)
 - ▽長田キヨコ(大蔵)
 - ▽田中昭治(大蔵)
 - ▽中野保子(大蔵)
 - ▽松尾操子(陶)
 - ▽亀井廣敏(陶)
 - ▽井上洋子(陶)
 - ▽原田保(鑄銭司)
 - ▽山田昭義(名田島)
 - ▽村岡佐知子(秋穂一島)
 - ▽矢儀キミコ(嘉川)
 - ▽福島定子(佐山)

社会同和教育
指導者研修講座に参加して

安田 洋子



企業、職場、婦人会等の参加による
指導者研修講座 (今年7月)

「深刻にして重大な社会問題である。」といわれる同和問題も、十八年間にわたる同和对策事業が実つて、その実態的差別は、ある程度まで解消された。しかし、就職や結婚問題等の、いわゆる心理的差別的解消は、まだ不十分で、今後も各分野で、それぞれ教育啓発を続けることが必要

である。

同和問題は、お互いの基本的人権を尊重することであり、人は皆、誰でも自由で平等なのだということだが、すべての人に真に理解されたら、自ら、解決するのはないだろうか。しかし、苦しい永い歴史を持つ、この問題、一朝一夕には、改め難いものがあるのかも知れない。

今後も、広報機関の利用、視聴覚教材を使った研修会の開催、各種集会等で、中・高年齢を主な対象として、広く同和教育を行っていただき、私どももまた、自らを育て、高め合い、一人ひとりを大切に、より暖かい家庭や社会を築いていくことが同和問題の解決につながるのではなからうか。

県外研修に参加して

同和教育は組織を生かして

松尾 操子

九月月上旬に県の催しで、京都での婦人同和教育研修に県内六人の方と一緒に参加させていただきました。

ある市の婦人会では、かねてより同和教育が行われていました。ある時、「同和講座より踊りの練習の方が楽しい」という一会員の率直な発言がきっかけとなり、これに

座を設けて各ブロックの代表に同和を含む、もっと幅広い人権の問題をテーマにした学習を通じてブロックのリーダーを養成し、これをブロック、学区へと逐次末広りに組織立った展開をしています。一人の百歩より百人の一步」をスローガンにこの活動は五年目を迎え、継続されています。

同じ地域に住み、幅広い年代で構成されている婦人会の中でこのように組織的、計画的に地



同じ市民が、人間尊重の精神に立って、ともに生きる権利、幸福の追求、権利の保障を求め連帯していく心構えが大切だと思います。



市民健康診断

- 日時 10月23日(金)受け付けは午後1時～2時
- 場所 山口市医師会健康管理センター(湯田温泉五丁目2-21)
- 診査項目 (40歳以上の人)問診、身体計測、血圧、検尿、聴打診、心電図、貧血、コレステロール、肝機能、血糖(40歳未満の人)血圧、検尿、胸部間接撮影
- 料金 いずれも600円
- 問い合わせ 山口市医師会健康管理センター(☎22-6922)へ

子宮がん検診

- 日時 10月20日(火)受け付けは午後1時30分～2時
 - 場所 市役所衛生課
 - 対象 30歳以上の市民
 - 料金 600円(70歳以上の人および市民税非課税世帯の人は無料)
 - 申し込み 市保健センター(☎21-2666)へ。申込者多数の場合は、締め切ることがあります。
- ※当日の和服はご遠慮ください。

健康教育

- 期日・場所・内容・講師
<10月29日・宮野公民館>「成人病の予防について」内科医師 <11月6日・小鯖公民館>「中年からの心の病」精神科医師 <11月6日・平川公民館>「歯と健康」歯科医師
- 時間 午後1時30分～3時30分
- 受講料 無料
- 申し込み 11月6日の講座については、10月31日までに市保健センター(☎21-2666)へ



山口技能開発センターの講習会

- ◆ワープロ講習
 - 日時 10月24日・25日の午前9時～午後4時
 - 定員・受講料 15人・1,000円
- ◆パソコン講習
 - 日時 11月7日・8日の午前9時～午後4時
 - 定員・受講料 10人・2,500円
- ◎申し込み 10月19日以降に、山口技能開発センター開発援助課(大字矢原1284-1 ☎22-1948)へ



第2回児童館特別講座

革を使って「ワカペン」を作ろう

- 日時 10月27日(火)午後3時30分～5時
- 場所 市福祉センター(下堅小路)
- 対象・定員 小学1～3年生30人
- 講師 中村裕美子先生
- 会費 300円
- 持参品 筆記用具、油性マジック(色つき)
- 申し込み 10月20日以降に、市児童館(☎22-7121)へ。申込順。

第1回市民ボウリング大会

- 山口市ボウリング連盟では、今年4月に市体育協会に加盟したことを記念して、次のとおり市民ボウリング大会を開きます。ふるってご参加ください。
- 日時 11月15日(日)午前9時～午後1時
 - 場所 ボウル山口(葵二丁目6-5)
 - 対象・定員 市内に居住する人100人(申込順)
 - 競技部門 19歳以下の部と20歳代、30歳代、40歳代、50歳代の部および60歳以上の部の6部門で、いずれも男女別(競技は3ゲーム合計)
 - 参加費 1人1,000円
 - 申し込み 11月1日から10日の間に参加費を添えて、山口市ボウリング連盟(ボウル山口内☎22-7100)へ

不燃物の収集日 出張所地区

<11月> 2日嘉川、4日佐山、5日鑄銭司・陶、6日秋穂二島・名田島、11日大内、13日平川、16日小鯖、17日吉敷、25日仁保、26日宮野、30日大歳

第1回山口市詩祭

- 日時 10月17日(土)午後1時30分～
- 場所 吉敷公民館
- 内容 公募した現代詩の入選発表と表彰式、中也詩「老いたる者として」の朗読(山口詩話会の伊藤孝子さん)とハーモニカ伴奏(中也の実弟・伊藤捨郎さん)など

山口県流通センターまつり

- 日時 11月3日(祝)午前10時～午後4時
- 場所 山口県流通センター広場(朝田と小郡町仁保津にまたがる地域)
- 内容 食料品や日用雑貨・衣料品等の格安展示即売会、ミニ動物園、キャブテンデモ、モーターショー、住宅展、飲食コーナーなど

自衛隊創設33周年記念行事

- 日時 11月3日(祝)午前8時30分～午後3時30分
- 場所 陸上自衛隊山口駐屯地
- 内容 記念式典と観閲行進、冒険子供広場、ジープ試乗、模擬戦など
- 入場料 無料

心身障害児の療育相談会

- 県心身障害児総合療育機能推進事業の一環として、心身に障害を持つ乳幼児(疑いも含む)とその保護者を対象に療育相談会が開かれます。
- 日時 11月13日(金)午後1時～3時
 - 場所 山口保健所(葵二丁目5-69)
 - 相談担当者 小児科、小児神経科、精神科の各医師ほか関係者
 - 持参品 母子健康手帳
 - 申し込み 10月25日までに、市福祉課(☎22-4111)へ



みんなで参加しよう 市民ふれあい健康展

- 市では、「ふれあい いきいき 健康づくり」をテーマに、健康に対する自衛意識の高揚と健康水準の向上を図るため、次のとおり市民ふれあい健康展を開催します。ふるってご参加ください。
- 日時 11月8日(日)午前9時～午後3時
 - 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6 ☎21-2666)
 - 内容 <記念講演・午前11時～正午>「健康について考えてみよう」吉富正一・山口赤十字病院院長 <各種コーナー> 血圧・身体計測と健康相談コーナー、歯科コーナー、薬草コーナー、コンピュータによる健康チェックコーナー(以上は午前9時～午後3時)、食生活コーナー(午前11時～午後2時)、健康体操コーナー(午後1時～2時)など
- ※お楽しみ抽せん会もあります。

- 親子で木星を観る会
 - 日時 十月三十一日(土)午後七時
 - 対象 市内の小学生と保護者五十人(必ず保護者同伴)
 - 指導者 県児童センターの中部康典先生
 - 申込期間 十月二十九日まで
- ◆水中の微生物を観る会
 - 日時 十一月八日(日)午前九時三十分～十一時三十分
 - 対象 市内の小四年以上四十人(保護者も可)
 - 指導者 県教育研修所の吉賀博史先生
 - 持参品 筆記用具
 - 申込期間 十月二十九日まで
- ◆低学年のための硬筆かきかた教室
 - 日時 十一月から昭和六十六年三月までの毎週金曜日、午後三時三十分～四時三十分
 - 対象 市内の小一、二年生二十人
 - 指導者 市児童文化センターの高木東三館長
 - 申込期間 十月十七日～二十三日
- 場所 いずれも市児童文化センター
- 申し込み 市児童文化センター(☎22-4285)へ。受講料はいずれも無料です。

市児童文化センターの科学教室とかきかた教室



土曜夜間在宅当番医 10月17日外科系の吉武医院(吉南医師会)の変更 ⇒同仁病院(☎阿知須2130)

おはなし ムーミン ○日時 10月20日(火)午後3時30分～4時 ○場所 県立図書館青少年室 ○内容 絵本の読み聞かせ——月と星の絵本——と紙芝居